

※大会結果の詳細はホームページに掲載

指導者講習会開かる

5月16日 熊本市託麻地域コミュニティセンター

指導者養成の要として本年度、第1回の指導者講習会が県内支部・大学等の指導者15名が参加して行われた。午前中、国際師範である樋口悦夫県協会会長が指導者としての心構えや熊本テコンドーの沿革、組織論などを約3時間に亘りレクチャー。昼食後、基本動作、約束キヨルギ、ブンセ、審判ジャッジのやり方等を行い、参加した指導者は熱心に受講していた。県協会では、指導者の育成がこれからの普及に不可欠、と今後も数回の講習会を開く予定。



平成22年度加盟団体通常総会

5月16日 熊本県民交流館パレア会議室

平成22年度の県協会加盟団体通常総会がこの程、県下の支部、大学クラブの代表等から16名が出席して行われた。樋口悦夫会長の挨拶の後、前年度事業報告、収支決算報告、本年度事業計画等6議案が審議承認された。



テコンドー教室を開催!合志市



6月5日(土)より毎週土曜日14時~16時まで2時間の計8週間、合志市より生涯スポーツ教室の一環としてテコンドー教室開講の依頼が合志支部にあり、大人から子供までテコンドー未経験者、計20名が参加した。全員がテコンドーは名前のみ聞いただけで、初心者だけの体験教室。基本技やステップの練習、ミット蹴りの練習に参加者は一生懸命に取り組んでいた。高細工 洋合志支部長は、「市からの要請でもあり、テコンドー普及に繋がるいい機会を与えてもらいたい感謝しています。受講者の中から、本格的に習いたいと言う意見もあり、楽しいテコンドーを体験してもらっています。」と語った。

崇城大学テコンドー部 創部10周年記念パーティー開かる!

7月10日 アークホテル

崇城大学テコンドー部の創部10周年記念パーティーがこの程、OBを含めた約50名が出席して行われた。会には、県協会からも樋口会長をはじめ数名が出席。冒頭樋口会長は、「平成7年、熊本工業大学同好会として発足した同部は、伝統あるテコンドー部。多くの優秀な選手を輩出。今後の活躍を期待します。」と挨拶。歴代OB主将からは、後輩への力強いメッセージが伝えられた。福元陽一OB会会長は、「このように10周年を祝えることに大変感謝しています。こんなに多くのOBが出席していただき、記念に残る素晴らしいパーティーとなりました。今後もOBで出来ることは協力して行きたい。」と語った。



ワンダーシティ記念イベントで演武!

7月18日 熊本市南熊本ワンダーシティ

熊本市内にあるワンダーシティの13周年記念イベントに、牧野信一玉名支部長、西村紀幸支部長、阿蘇道場の子供達、学園大のテコンドー部の会員によるデモンストレーションが行われ、基本動作、ミット蹴り、板割り、そしてテコンドーダンスとテコンドーの華麗な動きを披露した。



夏季昇段級審査開かる!

8月1日 熊本県民総合運動公園体育館

県協会主催の夏季昇段級審査会が、県民於運動公園体育館に県内支部、大学から73名が参加して行われた。受験者は、基本動作、移動基本、ブンセ、キヨルギに熱心に取り組んでいた。審査終了後、協会から8月14日から上映される映画「ベストキッド」のチラシ割引券が参加者に配布された。



夏季強化合宿に51名が参加!

8月7・8日 阿蘇青少年交流の家

今年の県協会主催夏季強化合宿が、昨年に続き阿蘇青少年交流の家で県協会及び大分県協会から総勢51名が参加して、2日間に亘り行われた。10キロのランニングをはじめ、体力訓練、基本練習、ミット蹴り、キヨルギ等、汗びっしょりになりながらも参加者は真剣に取り組んでいた。また、8日午後には、参加した県協会強化委員による会議も行われ、今後の県協会の選手強化についての意見が交わされた。練習終了時、7月の全日本ジュニア選手権で入賞した選手に県協会から「ベストキッド」の映画観賞券が贈られた他、じやんけん大会も実施され、テコンドーグッズや花火のプレゼントなどがあった。大分県協会、鳴田仁信選手強化委員長(崇城大OB)は、「いい経験となった。今後も機会があれば是非参加したい。」と語った。



テコンドーくまもと Vol.32

TAEKWONDO KUMAMOTO 2010.5 ▶ 2010.8



阪上弘一(宇土)・西村純(阿蘇)がV! 3位入賞4名の大健闘! 8月1日 長野県松本市総合体育館 全日本ジュニア



阪上弘一選手(青)1回戦

JOC ジュニアカップ全日本ジュニア選手権大会は、小学生から高校生までの27階級に338名が出場して開催された。熊本県からは11名の選手が出場、高校生ミドル超級で阪上弘一選手(宇土)、中学生バントム級で西村純選手(阿蘇)が嬉しい優勝を飾った。また、3位に4名が入賞し、参加11名中6名が3位以内入賞の好成績となった。開会式では、北京五輪ソフトボール金メダリストの上野由岐子選手が選手を激励した。

優勝: 阪上弘一、西村純
3位: 坂田賢誠、本田千尋、西田亮、西村真利愛

13階級で頂点に! 全九州選手権

8月29日 福岡県嘉麻市嘉穂総合体育館



第21回全九州選手権大会は、九州各県から239名の選手が参加して福岡県嘉麻市で開催された。県協会からは、小学生から一般までの40名の選手が出場、全33階級実施の中13階級で優勝する大活躍をみせた。特に一般男子の階級では、6階級の中5階級で優勝する好成績となった。重松威一郎選手、牧野信一選手のベテラン選手の活躍や、中山北斗選手、阪上弘一選手等の若手が伸びて来おり、また、コーチ陣の充実も好成績につながった一因と言えるだろう。

ジュニア選手では、廣田翔栄、龍信選手、中西美有、一将選手の兄弟選手が共に嬉しい優勝を飾るなど、小学生高学年、中学生の部での活躍が目立った。来年は地元熊本での開催となり、更なる強化が期待される。

佐田福岡県会長から樋口会長へ
九州大会旗が渡される



協会モバイルサイト
近日オープン!!

今後、協会各支部のタイムリーな情報を
配信していきます!
是非チェックしてみて下さい!

<http://www.kumamoto-taekwondo.jp/m/>



大会ハイライト

ONEオープンテコンドー選手権大会 5月5日 長崎県立総合体育館

今年のONEオープン大会は、長崎県立総合体育館で盛大に行われたが、県協会からは11名の選手が出場し、阿蘇道場の西村真利愛選手が中学生の部で、山本悠菜選手が小学女子の部、中西一将選手が小学男子の部でそれぞれ優勝した他、6名が3位内の入賞を果たす好成績となった。

HIGHLIGHT

※大会結果の詳細はホームページに掲載



熊本選手団

熊本学園大、個人2階級を制す! 県学生選手権大会 5月22日 崇城大学体育館

第16回熊本県学生選手権大会は、この程、崇城大学体育館で崇城大、熊本大、熊本学園大が参加しての個人戦3階級を行った。この大会は、熊本地区大学総合体育大会のテコンドー競技としても兼ねている大会。開会式の後、男子軽量級・重量級の2階級、女子合同級で熱戦が繰り広げられた。参加選手数は昨年に比べて少なかったものの、出場選手は県学生チャンピオンを目指し白熱した試合が多くみられた。軽量級は、廣瀬翔平選手(学園大)、中量級は、中山北斗選手(学園大)が共に制した。また女子合同級は崇城大の星野祥子選手が優勝を果たした。

大会終了後は、県協会指導者も参加してのサドンデスでの練習試合等で盛り上がっていた。最優秀選手には、中山北斗選手が選ばれた。

アジア選手権「樋口、津田」両選手メダルに届かず! 5月20~23日 カザフスタンアルマティ

5月20日から4日間に亘りカザフスタンで開催された、第19回アジア選手権大会に出場した樋口清輝選手、津田ひかる選手は、健闘及ばずメダルの獲得はならなかった。全階級で最多エントリーとなった男子-68kg級に出場した樋口選手は、初戦で前回大会2位のヨルダン選手と対戦、最終ラウンド残り30秒で逆転され、入賞を逃した。勝ったヨルダン選手は次の試合で台湾に勝利し、準決勝でイランの選手に1ポイント差で敗退3位となる。勝ったイラン選手は、決勝で韓国に勝利し68kg級を制した。樋口選手は、ヨルダン選手に最終ラウンドまで優位に試合を進めていただけに悔いの残る結果となった。

女子-46kg級出場の津田ひかる選手は、初戦でウズベキスタン選手と対戦。接戦となりサドンデスになるも決着がつかず、審判判定となり惜しくも敗れたが、試合は互角以上の内容で次のステップに繋がるいい試合となり、本人も自信を深めた。日本選手団としては、唯一女子49kg級に出場した笠原江梨香選手が2位に入賞し、銀メダルを獲得した。

西田亮選手(不知火支部)中学生Bクラスで優勝!

5月30日 千葉・浦安市総合体育館



東京、千葉で道場を開設しているジャパンテコンドースクール金休植師範が主催するJTSテコンドー選手権がこの程、千葉県浦安市総合体育館に約250名の選手が集い開催された。オープン参加で県協会から西田亮選手(不知火)、父である西田光宏不知火支部長も今回、選手としてシニアの部に出場。親子での参加となった。

西田亮選手は中学生Bクラスに出場。準決勝で東京の江尻選手に7-1で快勝、決勝は同じく中島選手(東京)に2-1で勝ちこのクラスの優勝を決めた。西田光宏支部長は健闘するも入賞は逃した。親子での試合出場は、親子の絆を深め良き思い出となることに違いない。

第2回熊本市テコンドー選手権大会開催! 7月11日 託麻スポーツセンター

今年4月、熊本県体育協会へ正式加盟となった「熊本市テコンドー協会」昨年に続く今年の大会は、平成22年度熊本市杯スポーツ大会テコンドー競技としても開催。熊本市内の7道場3大学から56名が参加して熱戦が繰り広げられた。ジュニアの部では、3階級で優勝を飾った託麻支部が躍進。また、一般の部では-58kg級で優勝を果たした東悟史選手(水前寺)が最優秀選手賞を獲得した。ジュニア選手のレベルは徐々に上がって来ているが、一般的の部では試合が初めての選手も多く、さながら新人戦の様相となつた。競技力向上は勿論だが、生涯スポーツとしてのテコンドーを推進する意味合いも重要。市民スポーツの振興を唱える熊本県体育協会の加盟団体としての意味合いは大きいと言える。



記念写真

大会ハイライト

第16回県選手権大会、112名が激闘! 6月6日 熊本市託麻スポーツセンター

今年で第16回を数える県選手権大会は、小学生から一般までの23階級に112名が出場し、県チャンピオンを目指して熱戦が繰り広げられた。開会式では、先月カザフスタンで開催されたアジア選手権に出場した、樋口清輝選手、津田ひかる選手からの大会報告も行われた。また、井薫・熊本市体育協会会長も来場され、しばし選手達の試合を熱心に観戦された。

試合は、プンセ(個人・団体)とキヨルギで実施され、団体プンセでは、八代道場Aが託麻道場Aを抑えて優勝を飾る。キヨルギでは、ジュニア選手が激闘を繰り広げた。同点決勝も多くみられ、サドンデスでの攻防に会場は大きな歓声がわきあがつた。-54kg級では、坂田賢誠選手(秀岳館高)が澤田拓介(宇土)を制して嬉しい初優勝。一般-58kg級では圧倒的な強さを見せた中山北斗選手(学園大)が、また-68kg級では、ベテラン重松威一郎選手(水前寺)が、廣瀬翔平選手(学園大)を振り切り優勝。+68kg級では、2月の全日本選手権でミドル級3位となった牧野信一選手(玉名)、女子合同級では、全日本ジュニア入賞の本田千尋選手(阿蘇)が勝利した。今回の大会では、顔面への蹴りで逆転される試合も多くみられたが、今後は顔面への蹴り対策の有無が試合を決めるポイントとなるだろう。今大会の入賞者から、

8月29日に福岡県で開催される第21回全九州大会に出場する選手が決定される。九州大会での健闘が期待される。

米田優選手(阿蘇支部)準V! 青龍会オープン 8月8日 兵庫県立文化体育館 主催:兵庫県テコンドー協会

第5回目となる青龍会オープン選手権大会。今年は、小学生女子上級ライトフィン~フライ統合級に出場した米田優選手(阿蘇支部)のみの参加となつたが、1回戦9-1でRSC、2回戦5-1で圧勝して決勝に進んだが、安井かのん選手(青龍会)にあと一歩及ばず敗れ準優勝となつた。県協会からただ一人の寂しい出場のなか、準Vの結果を出した米田選手に拍手を贈りたい。

西田亮選手(不知火)リンクス大会に参戦! 8月22日 大阪市府交野市体育館

リンクステコンドーフェスティバル。今年は近畿地区を中心として約350名あまりの多くの選手が出場して盛大に開催された。今回は、電子防具使用での試合も実施されるなど、今後の競技力向上への意気込みがみられる大会となつた。県協会からは、ただ一人、西田亮選手(不知火)が中学生上級-45kg級の部に出場。準決勝からの試合となつたが、大谷颯選手(AMA)に前半トルリヨチャギ(回し蹴り)でリードしたが、2ラウンド、ネリヨチャギで逆転され挽回することが出来ず、残念ながら決勝に進むことは出来なかつた。コーチとして、道場の先生でもある父親の西田光宏事務局長がアドバイスを与えたが、後一歩及ばなかつた。近畿地区は、大会も多く一般の選手は勿論、ジュニア選手のレベルが一段と上がつてきている。ただ一人の参加だった西田選手だが、いい経験となつたに違ない。今後の活躍に期待したい。



入場する西田亮選手



ケーキ入刀シーン

協会ニュース&トピックス

NEWS&TOPICS

牧野信一・玉名支部長 ご結婚おめでとう! 5月2日

さわやかな季節となつた5月2日、「牧野信一・玉名支部長の結婚披露宴が荒尾のフォーチュン・シャトーランティーケーで華やかに行われた。新婦「知子」さんは、とてもチャーミングで明るい性格の素敵な女性。気が優しくて力持ちの新郎には最高の伴侶。披露宴には多くのテコンドー関係者も招かれ、演武を披露。新郎も板割りを見事に決めて拍手喝さい楽しい祝宴は続いた。信一さん、知子さん、このよき日をいつまでも忘れずにお幸せに!



アジア選手権出場権・樋口・津田両選手 地元阿蘇で激励壮行会開かる! 5月9日 阿蘇いこいの村

4月25日の第19回アジア選手権大会日本代表選考会で優勝を飾り、代表が決定した樋口清輝・津田ひかる両選手の激励壮行会が県協会主催で両選手の地元阿蘇市で60名が出席して行われた。樋口悦夫県協会会長の主催者挨拶に続き佐藤義興阿蘇市長、佐藤雅司県議会議員が挨拶、両選手を激励。樋口選手を支援している(株)丸美屋の東健社長、同じく(株)セルモの安田征史社長も出席、県協会から感謝状が贈られた。二人は「壮行会を開催してもらい大変嬉しく思います。大会はベストを尽くし、メダル獲得を狙います。」と力強く抱負を語った。壮行会の模様は5月14日の熊本県民テレビ夕方のテレビタミで放送される。